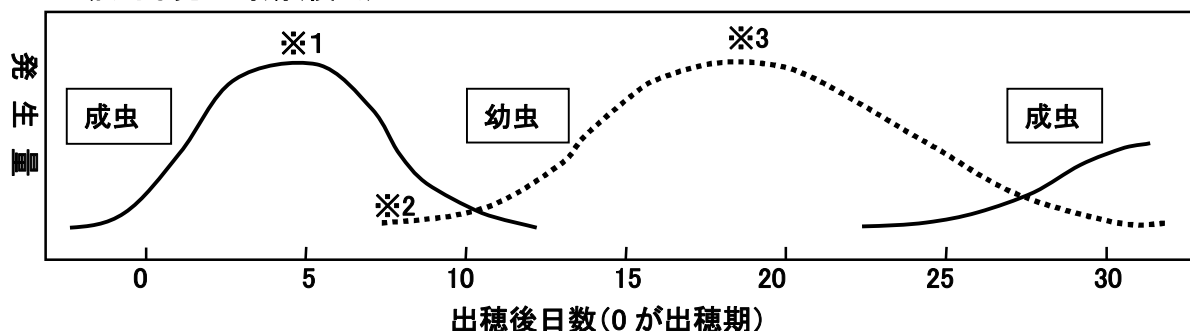


斑点米カメムシの水田侵入と増殖について!!

斑点米カメムシはイネが出穂すると、畦畔や雑草地から成虫が水田に飛来し増殖します。

一般的な発生時期(模式)



- ※1) カメムシ成虫の水田侵入は穂揃期頃がピーク
- ※2) 成虫はイネに産卵し、出穂7日後頃から幼虫が発生
- ※3) 幼虫数のピークは出穂期の15~20日後頃

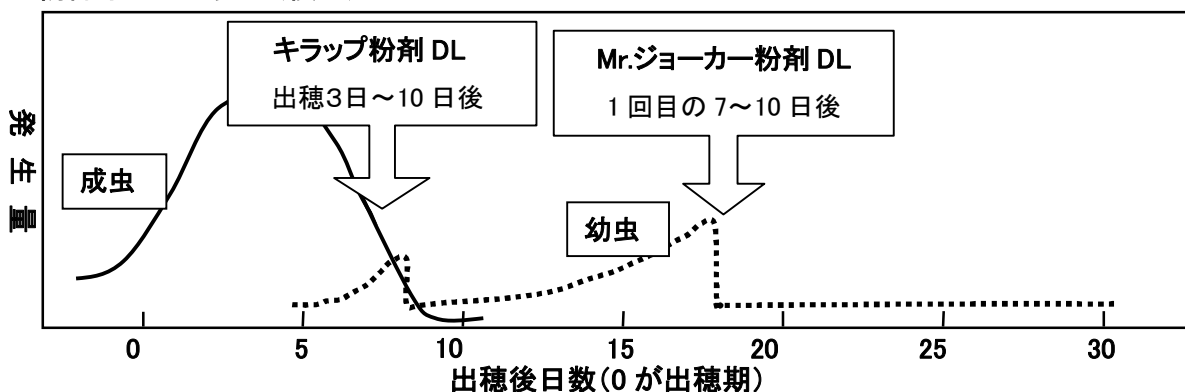
ポイント!!

斑点米は主に、**登熟中後期の幼虫加害により発生する**ため、この時期の**幼虫を防除**することが重要です。

粉剤・液剤による斑点米カメムシ防除は2回散布!!

成虫侵入後に散布すると成虫の再発生は殆どありませんが、幼虫が発生し、**幼虫の加害により斑点米が発生**します。斑点米の被害を抑えるには、この**幼虫を対象とした防除**が重要です。

防除水田での発生(模式)



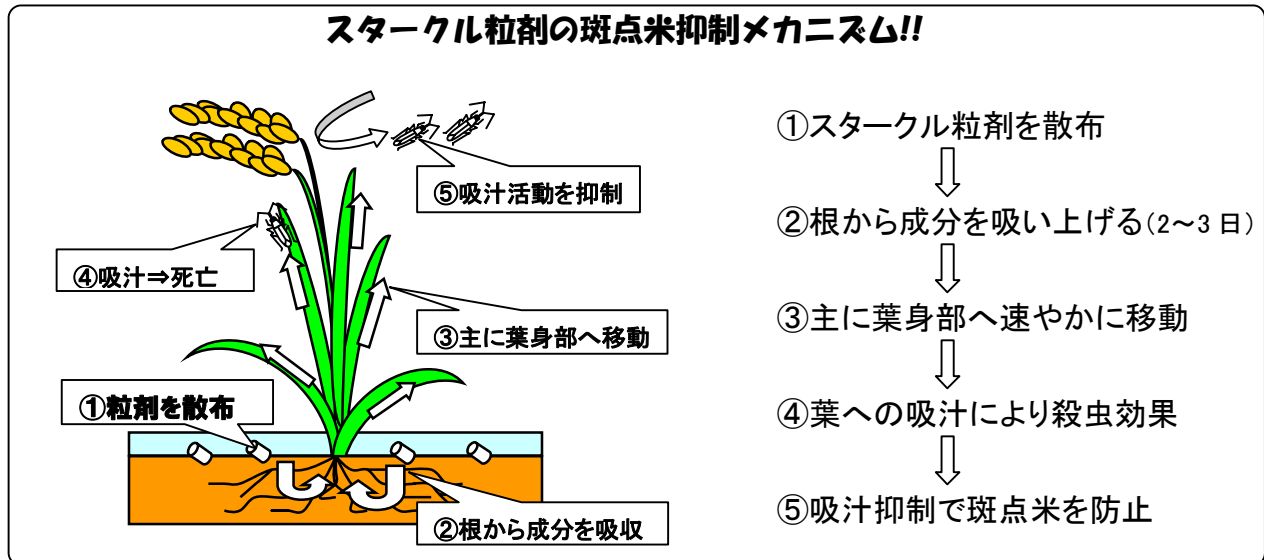
- 1回目散布: **出穂期の3~10日後頃** (カメムシ成虫侵入後~斑点米発生前に相当)
- 2回目散布: **1回目の7~10日後頃** (1回目散布時にあった卵が概ね孵化した時期に相当)

この2回の散布により、登熟中後期の幼虫を抑え、斑点米の発生を防止します!!

スタークル粒剤による斑点米カメムシ防除!!

スタークル粒剤での防除では、①効き方、②散布時期、③水管理の点で粉剤防除とは異なります。

①スタークル粒剤の効き方について



ポイント!!

稲体に有効成分を保持する事により、**殺虫効果と吸汁活動を強く阻害**しますので
長期間効果が持続します!! (1回散布で、粉剤2回防除並の効果)

②スタークル粒剤の散布時期について!!

成分の吸い上げに2~3日かかるので、出穂期の7日後までに散布して下さい。

散布時期：出穂期(穂が見え始めた頃)~出穂期7日後頃

③スタークル粒剤散布時の水管理について!!

薬剤吸収の為に水が必要です。スタークル粒剤は非常に水に溶けやすい性質のため、1cm程度の浅水で十分です(乾燥状態は不可)。また深水散布は効果が劣る可能性があるため避けて下さい。

- 湛水深は3cm程度の浅水で散布する。(極端な深水での散布は避ける)
- 散布後7日間は入水・落水しない。(自然落水は可:入水する必要はありません)
- 水口・水尻はしっかり止める。
- 圃場全体に均一に散布する。